

2023年3月30日

環境省「一般廃棄物の排出及び処理状況等（令和3年度）について」

まとめ≡ごみかん運営委員 小野寺 勲

環境省が、2021年度の全国の一般廃棄物の排出及び処理状況等について調査し、その結果を取りまとめたもの。リデュースについては、人口10万人以上50万人未満では、東京・多摩地域の自治体が6年連続してベスト10に8つ入っています。一方、リサイクルについては、10万人未満でベスト10の自治体は、ほとんどが生ごみの堆肥化、メタンガス化を実施。

■ ごみ排出の状況

ごみ総排出量

4,095万トン、前年度比1.7%減。
5年前（2016年度）に比べ5.1%減。
※ごみ総排出量＝収集ごみ量＋直接搬入量＋集団回収量

1人1日当たりのごみ排出量

901グラム、前年度比17グラム減。
5年前に比べ38グラム減

■ ごみ処理の状況

総資源化量

816万トン、前年度比2.0%減。5年前に比べ7.2%減。
※総資源化量＝直接資源化量＋中間処理後再生利用量
＋集団回収量

リサイクル率

19.9%、前年度比0.1ポイント増。
5年前に比べ0.4ポイント減。
※リサイクル率（%）＝総資源化量÷ごみ総排出量×100

■ 3Rの取り組みベスト10

リデュース（1人1日当たりのごみ排出量）の取り組み上位10位市町村 （単位：グラム/人日）

人口10万人未満			人口10万人以上50万人未満			人口50万人以上					
1.	長野県	南牧村	306.6	1.	静岡県	掛川市	622.6	1.	東京都	八王子市	748.2
2.	長野県	川上村	327.6	2.	東京都	日野市	630.7	2.	京都府	京都市	757.8
3.	徳島県	神山町	378.9	3.	東京都	小金井市	635.3	3.	愛媛県	松山市	761.0
4.	宮崎県	高原町	416.1	4.	東京都	立川市	665.7	4.	神奈川県	川崎市	791.7
5.	北海道	更別村	427.9	5.	静岡県	藤枝市	672.0	5.	神奈川県	横浜市	807.1
6.	長野県	大熊村	430.3	6.	東京都	西東京市	672.2	6.	埼玉県	川口市	813.9
7.	長野県	阿南町	443.7	7.	東京都	小平市	672.6	7.	静岡県	浜松市	819.7
8.	長野県	泰阜村	444.1	8.	東京都	国分寺市	677.7	8.	広島県	広島市	825.5
9.	長野県	高森町	451.9	9.	東京都	東村山市	679.3	9.	北海道	札幌市	831.5
10.	長野県	下條村	456.7	10.	東京都	府中市	680.9	10.	埼玉県	さいたま市	845.3

リサイクル（リサイクル率）の取り組み上位10位市町村 （単位：%）

人口10万人未満			人口10万人以上50万人未満			人口50万人以上					
1.	北海道	豊浦町	87.1	1.	神奈川県	鎌倉市	52.6	1.	千葉県	千葉市	33.3
2.	鹿児島県	大崎町	81.6	2.	東京都	小金井市	44.8	2.	東京都	八王子市	27.3
3.	徳島県	上勝町	79.9	3.	東京都	国分寺市	44.5	3.	愛知県	名古屋市	26.7
4.	鹿児島県	志布志市	74.3	4.	岡山県	倉敷市	43.5	4.	福岡県	北九州市	25.4
5.	北海道	小平町	66.1	5.	埼玉県	加須市	37.4	5.	新潟県	新潟市	24.4
6.	長野県	木島平村	65.8	6.	東京都	東村山市	36.4	6.	神奈川県	横浜市	23.2
7.	福岡県	大木町	64.7	7.	愛知県	小牧市	36.1	7.	埼玉県	川口市	22.8
8.	北海道	喜茂別町	61.4	8.	東京都	立川市	35.5	8.	埼玉県	さいたま市	22.1
9.	北海道	鹿追町	60.8	9.	東京都	調布市	34.6	9.	千葉県	船橋市	21.3
10.	鳥取県	日吉津村	53.2	10.	東京都	西東京市	33.9	10.	北海道	札幌市	20.5

※中間処理後再生利用量から固形燃料（RDF、RPF）、焼却灰・飛灰のセメント原料化、セメント等への直接投入、飛灰の山元還元された量を差し引き、リサイクル率を算出。